

令和4年度 第1回 長野市災害復興計画検討委員会

日 時：令和4年5月31日（火）午後3時から午後4時まで

場 所：第一庁舎5階 庁議室

出席者：委 員 長野市災害復興計画検討委員会委員名簿（末尾に掲載）のとおり

事務局 総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、新産業創造推進局長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、教育次長（行政担当）、上下水道局長、消防局長、総務部危機管理防災監、企画政策部復興推進特別対策室長、復興推進特別対策室職員

※代理出席あり

1 開会

2 松岡委員長挨拶

3 議事

※事務局から「長野市災害復興計画 令和3年度までの進捗状況について」について説明

【質問・意見】

<委 員> 8ページの千曲川の立ヶ花部分の河道掘削について、掘削の状況が非常に分かりやすく良い。長沼では、水が逆流してくる塞（せ）き上げ現象があるため、非常にこの立ヶ花狭窄部の掘削に関心が深い。このような資料を長沼地区の中で、回覧板などで回覧すると良く分かってもらえる。住民との集会などではよく河道掘削の話題が出ており、このような資料がやっと出てくるような状況になったので、長沼の住民自治協議会と相談して、住民の方に目に見えるようにしてほしい。

<中根千曲川河川事務所長> 長沼地区も含めて住民の方に対する広報についてはどういったことができるか含めて検討させていただきたい。

<松岡委員長> 私もこの立ヶ花の河道掘削の進捗状況を見ながら中野の方に買い物に行っており、どんどん進んでいる状況を見てきた。確かに地元の人でも中野方面に行かない人は知らないかもしれないので、できれば協力して周知していただきたい。

<中根所長>先ほど事務局からご説明ありましたが、昨年、掘削したところは（８ページの）図のSTEP1の部分です。今年度も引き続き下流側を掘っていきますので、このような資料について、みなさんにしっかり伝わるように広報に努めてまいりたい。

<委員>先日も、いろいろなところで懇談しながら、生活再建支援をしてくださっている皆さんに本当に感謝しているということをお聞きした。また、これがきっかけとなって近隣の人たちの支援もよくなったり、交流ができるようになったり、近隣の知人や友人が年中訪ねてくれるとか電話をくれるということが増えてきたことを、とても喜んでいた。見守りをしてくださっている方々たちは、本当にご苦労されているのだと思う。35ページの資料では地域の内訳は分かりませんが、そういう声がいっぱいあることは事実なので本当にここで感謝したい。しかしながら、そういうところに行ってもなかなか心を開かない人たちに対してどういう風に進めていくのかという課題もある。また、37ページに自殺者数が出ていてとても多いと驚いているが、今、災害が無くても閉じこもっていてコロナでなかなか自粛から抜けられない人たちに対して、私たちの支援の方法などしっかり考えて取り組んでいかなければと考えている。災害から復興している形としてはすごいと思うが、心の復興はまだまだこれからと感じるし、私たちが埋めていかなければと、今、実感している。

<松岡委員長>なかなか心を開けないというのは民生委員の方たちもきっと苦労しておられるし、専門の方々も苦労しておられると思いますが、あきらめないで続けていくことが大切だと思います。

<委員>行政の公共事業、公共施設の関係、それから支援の関係など、当局のご努力によって非常に進んできたと感じている。ただ一点、調査をされているのかどうかですが、例えばアップルラインや豊野地区の大型店も含めて商店や、工場等、この辺の復興状況について、アップルライン通ってみるとまだ大型店はオープンもしていませんし、歯抜け状態も多少見受けられるかと思うが、被災地区の産業関係の事業者の戻り具合の状況について調査されているのかどうか、調査されているのであればどこかの時点で資料をいただきたい。

<下平企画政策部長>手元に詳細な資料が無く申し訳ないが、災害後、被災事業所を回り、すべての事業所に対して支援策も含めてご案内をしてきました。そのリストがありましたのでその後の状況も調査しています。復旧・復興できたという所は多かったが、やはり、外に出てしまったり、廃業したというようなところが20件から30件くらいあったように記憶しており、その中に大型店も入っていたかと思います。

<委員>公共事業の関係は良いが、民間事業者にも、ある程度目に見える形で分かるように、事業所等の調査も引き続きお願いしたい。

<委員>長野商工会議所管内で長野、篠ノ井、松代すべて被災地になり、長野北部、そして

篠ノ井、松代3つのグループで、中小企業等グループ補助金には約70社、そして災害型の持続化補助金（最高200万円）については約200事業所の方を支援してきた。このグループ補助金については5年間、BCP（事業継続計画）の作成等で支援をしていく予定で、今まで2回セミナー等を行い、それぞれの企業にBCPを作るお手伝いをして、令和4年度も進めている。今のお話のとおり、廃業したところもあるが、再建したところも一生懸命やっている。商工会議所そして商工会で引き続き、通常の経営支援ともども被災地の事業所に寄り添っていききたい。

<委員> 7、8、9ページの関係。特に7ページの堤防の強化について篠ノ井の塩崎の所を中心にやっていただいて非常にありがたく思っている。台風19号の時にはかなり越水し、反対側が相当崩れた。以前も話したが、千曲川が南から来て東へ行く直角に曲がる所であり、ここが決壊すると川中島平一帯が水浸しになってしまう。現在、強化が行われていること、ありがたく思っている。スライド9の遊水地の整備は、塩崎関係も出ているが、今後も慎重に話し合いを持ちながら検討して行ってほしい。また、8ページの河道掘削ですが、大洪水になると、土砂も相当の量がその所に溜まるということで、篠ノ井もあちこち河道掘削していただいているが、完了したから終わりではなく、今後も、それぞれ予算化していただき、随時やっていただきたい。

<中根所長> 1点目の堤防強化につきましては、現在も工事を進めており、今後もしっかり進めてまいりたい。遊水地につきましても、今、話があったとおり、地元の方に丁寧にご説明するというのが大前提ですので、引き続き丁寧に説明してご理解を得ながら事業を推進してまいりたい。それから3点目の河道掘削につきましても、緊急治水対策プロジェクトにおいては令和9年度までにこの資料8ページの立ヶ花のところも含めてやっていきますが、お話のとおり大きな出水があれば土砂が流れてくるということもあり、中長期的な河川の整備計画についても、今、変更をかけておりますので、そういった中長期の観点からも引き続き必要な河道の断面を確保できるように河道掘削も行い、定期的に河川の測量をしながら、維持管理を含めてしっかり対応してまいりたい。

<委員> 千曲川河川事務所には精力的に千曲川の護岸改修はじめ、いろいろな面でやっていただき本当に感謝申し上げます。また、長野建設事務所の浅川関係も精力的に進められていると思う。しかし、昨年もその前の年も2年連続で、浅川があとわずかで越水しそうになり、ハイウォーターを超えているレベルもあった。住民は安心という部分がなかなかできていないという思いがあり、今の浅川総合内水対策計画を遂行するだけでなく、計画自体も若干見直しを検討する必要があるのではないか。特に水田が無くなって保水能力が無くなっていく中でしわ寄せは下流の豊野地区に来るので、浅川流域全体の中で、この遊水地も含めて対応していくなど大きな課題が残されていると思うので、その辺もぜひ今後の課題としてすぐにはできないかと思うがお願いしたい。また、全国2位と大きく地価が下がっているが、そのくらい地価が下がって、実際に大型のスーパーもなくなったり、食堂もなくなったり、生活に

影響している。単なる復興の補助金が出ているというだけで本当に地域が復興するのかなと感じる。企業に任せるのもいいが、長野市の産業振興という面で、被災地がまた活性化できるように、行政としての支援も何とかお願いをしたい。買い物がスーパー一つしかなくて大変な面もあり、色々な面で、賑わいなども欠けてきているように思う。ぜひその辺も併せて、いろいろ申しあげましたけれどもよろしくお願ひしたい。

<吉川長野建設事務所長>資料の11ページ、12ページのとおり、建設事務所で河川改修や土砂取り、たまった土の管理等進めている。また、特に内水対策ということで、浅川のポンプも元通りのポンプを付けた上で、さらに7トンの排水機場の増強という工事を行っている。さらには、川だけではなくて流域全体で水を何とかしようということで、ため池に協力していただいたり雨水の貯留の施設を造ったりということをやりながら、少しでも水害に負けないような地域になるように頑張っていくつもりですので、ご協力をお願ひしたい。

<松岡委員長>ここまで、だいたいハード面の話題が中心になっていたかなと思います。市の方で、災害の起こる前、情報伝達での対応など、そういうソフトとっていいのかその辺りを担当している部局の方から説明をいただくと、なるほどハードだけじゃなくてこういうこともやっているのかということが分かると思いますが。

<村上危機管理防災監>まず、水害の関係での備えということですが、千曲川河川事務所が中心となり、千曲川や犀川の流域のタイムラインという取組みを昨年度から進めております。災害が起きる前、早い段階から気象台とも連携しながら、関係機関で情報を共有し、早め早めの準備を進めていくということで遅滞なく必要な避難指示等を出していけるように、市町村だけではなくて国、県それから関係の機関で取り組んでおります。また、令和元年の台風災害の関係につきましては検証報告書という形で令和2年の7月にいろいろな課題の洗い出しをして、改善策等について実際にできるかどうかという部分までなかなか踏み込んでおりませんが、洗い出しを行っております。なかなか一朝一夕にすべての課題をクリアすることは難しいところですが、今年度、災害対策基本法に基づく大きな計画である地域防災計画の5年ぶりの全面改定という年になりますので、検証報告書の中の課題も可能な範囲で地域防災計画の見直しの中に織り込んでいく形で防災力の向上を図ってまいりたいと思っております。防災減災というのは危機管理防災課だけではなくてハード面の建設部や救急救助は消防局という形で全庁的に取り組む大きな課題ですので、市民の皆様のご理解をいただきながら、取り組みを進めてまいりたいと思っておりますので、ぜひご協力いただければと思います。

<委員>今のお話にも関連するかもしれませんが、堤防の強化とか河道の掘削とか災害の後の修復等はかなり進んでいてすごいと感じます。ただ実際に消防の観点から考えてみて、目に見える復興もそうですが、たとえば情報伝達、要は声が聞こえなかったという課題も残っていたはずですが、33ページでは整備が完了したということで、また、先ほど引き続きという話もありましたが、もしこれで大きな災害じゃないにしても災害があった時にまた防

災の放送が地区によって聞こえない場合もあつたりしたときに、相談させていただいて支局の増設など検討していただけると助かります。

<村上危機管理防災監> デジタル無線、同報系につきましては非常にお金もかかる事業であり、やっと今までのアナログからデジタル化の整備を終えたというところですが、なかなか全市域でしっかりと聞こえる状態となったかという、誠に申し訳ございませんが限界がございます。今後も、毎年予算を認めていただきながら少しずつですけれども増設等を図ってまいりたいと思いますが、なかなか一気に解消するというのは困難だということをご理解いただきたい。33ページに防災アプリの写真が付いておりますが、スマホを使った情報伝達、受け取る手段などもございます。今後も様々な先進的な技術も出てくるかと思っておりますので、そういったものも活かしながら、決してこの同報系だけではなく複数の手段で避難情報を伝達していくことが必要だと思います。消防団の皆様のお力をお借りすることもございますし、地域の皆様のコミュニティの力をお借りして伝達するという部分も当然必要となってまいりますので、ご協力いただきながら、しっかりとした情報を伝達できるように取り組んでまいりたい。

<松岡委員長> 地域の力というものが結構大事だと思いますので、復興もそうですが、一緒に協力していただければ、いざ災害の時に、お互いの情報も伝わりやすいし対応策も伝わりやすいと、そういう地域が出来てくるといいなと思います。

<下平部長> ハードの方はだいぶ進んできたというご意見と、一方で情報も含めてソフトの部分というのはまだこれからも改善の余地があるのではないかというご意見もいただきました。また、関係部局含めまして全庁的に復旧・復興に向けて進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いたします。

4 その他

【事務局】 長野市災害復興計画検討委員会の次回日程について（令和5年3月頃）

5 閉会

長野市災害復興計画検討委員会委員名簿

R4.5.31現在

(順不同、敬称略)

区分	団体名・職名等	氏名
被災地域代表	古里地区住民自治協議会 前会長	金子 祐三
	長沼地区復興対策企画委員会 副委員長	岩崎 隆裕
	篠ノ井地区住民自治協議会 元副会長	早川 孝志
	松代地区住民自治協議会 元会長	(欠) 町田 修
	若穂地区住民自治協議会 会長	竹内 守雄
	豊野地区住民自治協議会 災害復興対策委員会委員長	善財 孝文
防災・減災	国立長野工業高等専門学校 名誉教授	松岡 保正
	信州大学理事(情報・DX担当)、副学長	(欠) 不破 泰
	長野市消防団 前団長	高木 芳博
農業	ながの農業協同組合 代表理事組合長	宮澤 清志
	グリーン長野農業協同組合 代表理事組合長	(代) 神農 佳人
	長野市農業委員会 会長	青木 保
産業	長野商工会議所 会頭	(代) 北村 正博
	長野市商工会 前会長	工藤 洋吉
	ながの観光コンベンションビューロー 理事長	鈴木 栄一
福祉	社会福祉法人長野市社会福祉協議会 会長	寺田 裕明
	清泉女学院短期大学 教授	(欠) 武田 るい子
	長野市地域女性ネットワーク 会長	柳原 静子
オブザーバー	国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所 所長	中根 達人
	長野県長野地域振興局 局長	中坪 成海
	長野県長野建設事務所 所長	吉川 達也

※ (代) =代理出席 (欠) =欠席